の円滑なる発展と日本の産業の発展の大理想の上に立脚しての（所謂今日の産業復興の上に唯一の欠陥たる労働の保護兼義の）要求を行へるものである 然るに自己の利益の前に盲目の将来なく労働階級なき彼田辺は従業員のこのひしき叫びを足下にふみにじった、労資相互の協調 不屑の観念を打ち破った——！ 人類社会の相互扶助の精神を圧殺した この暴悪暴戻の対応に対して日立ぶべき言葉を見出し得ぬ 今や一般業の従業員はこの資本の了進に対し暴戻に対して公義の旗印高く戦ひを進めつゝある

全社会正義の士よ 正義のために斗ふ田辺の同志を支持せよ 守れ——

然して暴虐暴戻の典型田辺の毒手を我等の力でたゝき倒せ——

昭和二三年九月二十日

関東合同労働組合
田辺酸素株式会社争議団ホウト

関東合同労働組合争議部
芝区芝公園五号地四号

別記

田辺酸素株式會社の争議に就て全組合員諸君に檄す——

既報——（田辺酸素株式会社の争議団よりノ檄文参照）

其後田辺酸素株式会社の争議団は 頑迷固陋なる田辺社長守銭支配人の反省を求めて日々一人の落伍者もなく乱れざる統制を保って勇敢なる斗争を続けつゝある 去る九月十七日に本部より交渉のため工場に出張した 白鳥に対して飽くまで頑迷なる会社は面会を拒絶して最初の主張を「工場閉鎖」守り續けてゐる

従業員は会社附近の空地に天幕を張って立籠り持久戦の覚悟を以て會社に対抗してゐる 我ひはいよいよ激烈の状態を呈して 従業員の斗志は益々揚り横暴なる會社を倒せ 頑迷なる守銭支配人を葬れ の絶叫は人々の脈々を廻る熱血と共に小石木河原にコダマしてゐる

全組合員諸君

この勇敢なる同志の戦を守り この労資の戦ひに勝利を与へ敵の牙城に向って一歩我等の旗を推し進めるものは 田辺従業員の背後に控へた我等の力以外にない 結束を守らしめ斗争に新なる力を加へるものは 争議にあてる軍資金だ

之なくしては 持久戦は不可能だ 敵を我等の前に屈伏せしめることは出来ないさ

さに我等は本化工に於て惨敗した 南葛の工場地帯は労働階級の群住の地だ 我等の今後の闘争地だ 田辺酸素に於ける 勝敗の結果を考慮せよ